

NEXCO 中日本 名古屋支社は、E1A 新名神高速道路 四日市ジャンクション（JCT）～新四日市 JCT 間において、9 月 4 日からの大雨により複数箇所でのり面崩落が発生し、さらに 9 月 13 日には 9 月 4 日からの大雨で被災し応急対策をおこなった箇所（下り線 1.5KP 被災箇所）で大規模なおり面崩落が発生したことから、今後の防災対策を検討するため、2019 年 10 月 3 日（木）に有識者による検討会を開催しましたので結果概要をお知らせします。

## E1A 新名神高速道路 のり面防災対策検討会

### 1. 結果概要

- 当該区間のおり面は切土面に連続的に現れるシルト薄層がおり面の不安定化に寄与している可能性が大きい。そのため、今後のおり面の安定化を検討する際は、このシルト薄層の正確な分布形状および透水性などについて詳細に調査しておくことが必要、との意見をいただいたうえで、以下について了承された。
- 下り線 1.5KP 被災箇所について、ボーリング調査を早急を実施し、シルト薄層の分布形状等を把握したうえで、その結果を踏まえた対策工の検討をおこなう。
- その他の被災箇所および切土のり面にて湧水が確認された箇所（湧水箇所）について、ボーリング調査を進めることを基本に、必要に応じて対策工の検討をおこなう。

### 2. 今後の予定

- 下り線 1.5KP 被災箇所については、ボーリング調査の結果を踏まえた対策工を立案のうえ、検討会にて審議し、本復旧に向け早期着手をおこなうとともにその他の被災箇所および湧水箇所についても、必要に応じて検討会にて審議したうえで、対策を実施する。

**【参考】 検討会開催状況**



**【参考】 現地調査状況**

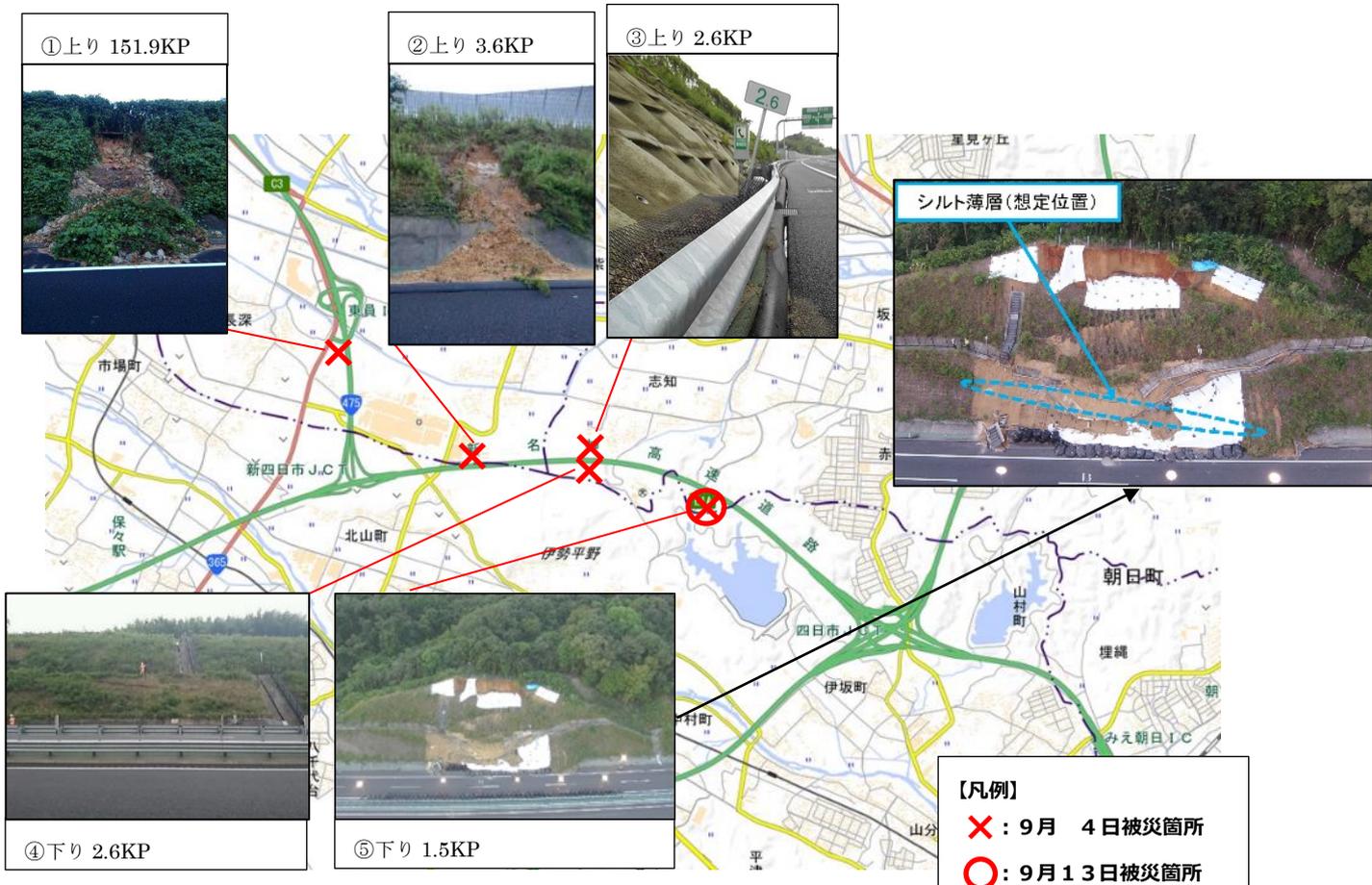


【参考】 E1A 新名神高速道路 四日市 JCT～新四日市 JCT 間 のり面被災状況  
 ○下り線 1.5KP の 2 段切土のり面崩落(高さ約 14m、幅約 50m : 約 1,000m<sup>3</sup>)  
 ○他に小崩落の被災が 5 箇所、湧水発生が 17 箇所  
 ○9 月 18 日(水)6 : 00 に被災箇所の応急復旧の完了をもって通行止めを解除

■位置図



■崩落状況



出典：国土地理院 地理院地図